

■めぶきフィナンシャルグループ（以下、「めぶきF G」）は、お客さま本位の業務運営に関する取組み状況（注）を定期的に公表するとともに、商品・サービスのさらなる向上に向けた取組みを実施してまいります。

（注）めぶきF Gでは、お客さま本位の業務運営に関する基本方針（以下、「基本方針」）を踏まえ、お客さま本位の業務運営に関する取組みの実践を客観的に確認・評価する指標（K P I）を設定し、定期的に公表することとしております。

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

1. お客さまの最善の利益の追求

（1）お客さまの最善の利益の実現に向けたご支援に取り組む企業文化の定着に取り組んでまいります。

2. 利益相反の適切な管理

（1）当社グループとお客さまとの利益相反を防止するため、利益が相反する可能性を正確に把握し、適切な管理を行ってまいります。

3. 手数料等の明確化

（1）お客さまにご負担いただく手数料等については、分かりやすく丁寧な情報提供を行ってまいります。

4. お客さま本位の情報提供

（1）商品の特性やリスク、手数料等の重要な情報をわかりやすく提供するため、「重要情報シート」等を活用し、お客さまの理解度に応じた丁寧な説明をいたします。

（2）経済環境や市場動向等について、十分な情報提供を行ってまいります。

5. お客さま本位のコンサルティングの実践

（1）お客さまの最善の利益の実現を支援するため、グループ総合力を最大限に活用したコンサルティングを行ってまいります。

（2）多様化するお客さまの目標や夢を実現するための商品・サービスの提供を行ってまいります。

（3）お客さまとの接点となる多様なチャネルの整備・拡充により、お客さまの利便性向上に努めてまいります。

（4）運用状況や市場環境を踏まえたタイムリーな情報提供と丁寧なアフターフォローを行ってまいります。

（5）お客さまの金融リテラシー向上に向けた取組みを行ってまいります。

6. お客さま本位の販売態勢の整備

（1）お客さま本位の営業活動を促す業績評価体系の整備を行ってまいります。

（2）多様化・高度化するお客さまニーズにお応えするため、プロフェッショナルな人材の育成を行ってまいります。

（3）お客さま本位の業務運営態勢の確保に向けたガバナンス体制の整備を行ってまいります。

【目次】基本方針に基づく取組状況と計数指標

【基本方針】	【計数指標】	【対応する原則】	
1. お客さまの最善の利益の追求	①②③④⑤⑥⑦	原則 2	P 4～P 17
2. 利益相反の適切な管理	⑧⑨⑩	原則 3、6	P 18～P 19
3. 手数料等の明確化	—	原則 4	P 20
4. お客さま本位の情報提供	—	原則 5	P 21～P 25
5. お客さま本位のコンサルティングの実践	⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰	原則 6	P 26～P 33
6. お客さま本位の販売態勢の整備	⑱	原則 7	P 34～P 35

※【対応する原則】は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」（2021年1月改定）との対応を示しております。

計数指標一覧

- | | |
|--|-----------------------------------|
| ①顧客満足度 | ⑪投資信託販売に占める毎月分配型の販売比率 |
| ②預り資産保有残高および預り資産契約者数の推移 | ⑫投資信託販売に占める積立投信の販売比率 |
| ③積立商品の契約者数推移 | ⑬めぶきファンドラップの契約者数・契約金額 |
| ④投資信託・ファンドラップの運用損益別顧客比率 【共通KPI】 | ⑭投資信託商品の取扱数および新規取扱・取扱中止の実績 |
| ⑤投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン 【共通KPI】 | ⑮保険商品の取扱数および新規取扱・取扱中止の実績 |
| ⑥外貨建保険評価損益別顧客比率 【共通KPI】 | ⑯お客さまセミナーの実施状況 |
| ⑦外貨建保険銘柄別コストリターン 【共通KPI】 | ⑰年代別のNISA口座数 |
| ⑧取扱投資運用会社数・取扱保険会社数の推移 | ⑱ファイナンシャル・プランニング(F P)技能士資格保有者数の推移 |
| ⑨投資信託販売金額上位10商品 | |
| ⑩保険販売金額上位5商品 | |

※共通KPIは、2018年6月に金融庁から公表された「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPIについて」および2022年1月に金融庁から公表された「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて」に基づく指標です。

基本方針に基づく取組状況

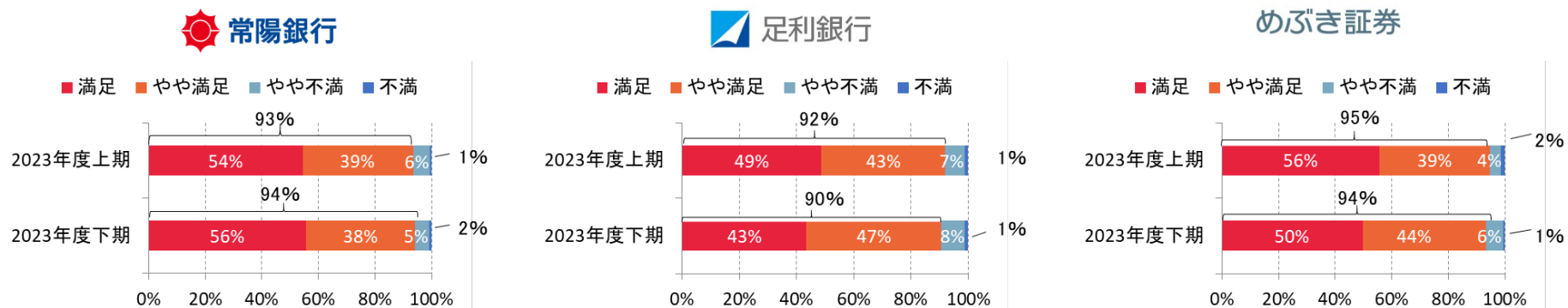
(1) お客様の最善の利益の実現に向けたご支援に取り組む企業文化の定着に取り組んでまいります。

めぶきFGでは、「お客様本位の業務運営に関する基本方針（以下、「基本方針」）」に掲げているとおり、「お客様の安定的な資産形成を実現」することが、お客様の最善の利益になると考え、常にお客様本位で行動しております。

基本方針の浸透を図るため、経営陣からの発信や営業担当者向けの定例会議、内部管理責任者向けの研修等におきまして、お客様本位の業務運営に関して周知・徹底しております。

①顧客満足度

お客様の満足度を把握するため、定期的にお客様アンケートを実施しております。直近の店頭（渉外含む）購入者向けアンケートでは、担当者の商品説明力や提案力等に対して、9割超のお客様に「満足」「やや満足」とご回答いただいております。



※対象者：アンケートを実施した期（2023年度上期または2023年度下期）の前の期（6カ月間）に投資信託または保険商品をご購入いただいた個人のお客さまから無作為に抽出。

<2023年度下期アンケート実施概要>

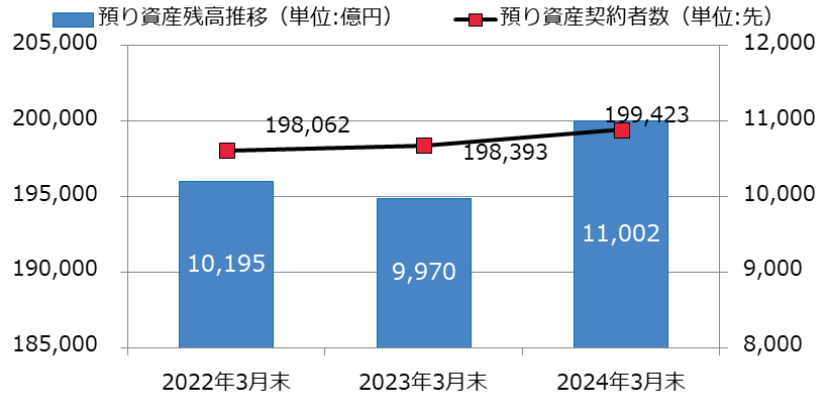
- 常陽銀行 …店頭（渉外含む）購入者：2,100名、うち886名回答(回収率42.2%)
- 足利銀行 …店頭（渉外含む）購入者：2,100名、うち623名回答(回収率29.7%)
- めぶき証券 …店頭（渉外含む）購入者：1,533名、うち718名回答(回収率46.8%)

1. お客様の最善の利益の追求

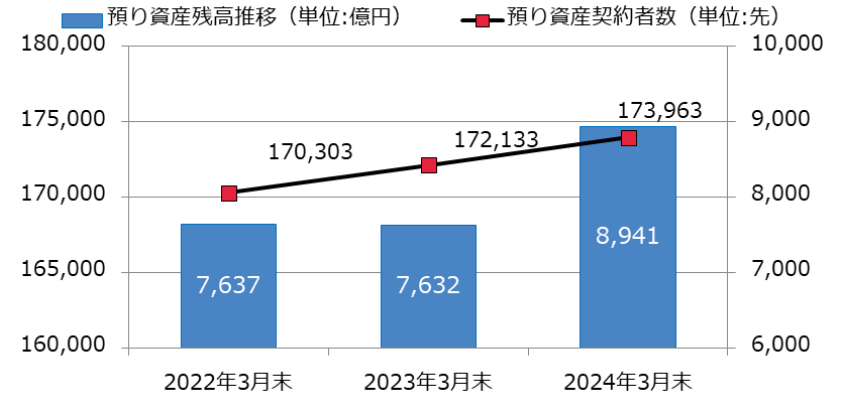
② 預り資産残高および預り資産契約者数の推移

グループ全体では、投資信託を中心に預り資産残高および預り資産契約者数は前年度比増加となっております。

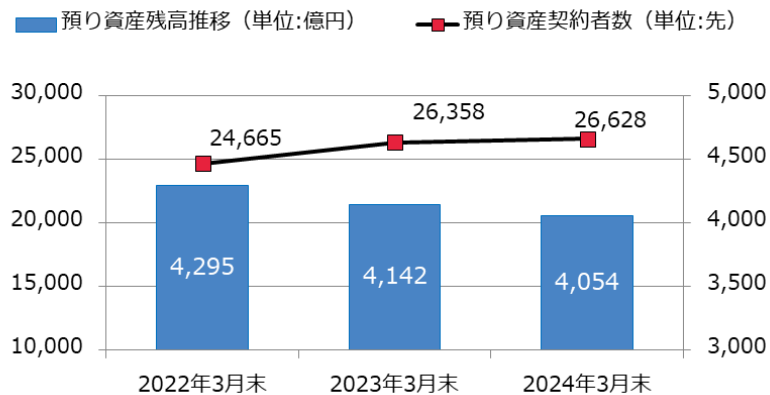
常陽銀行



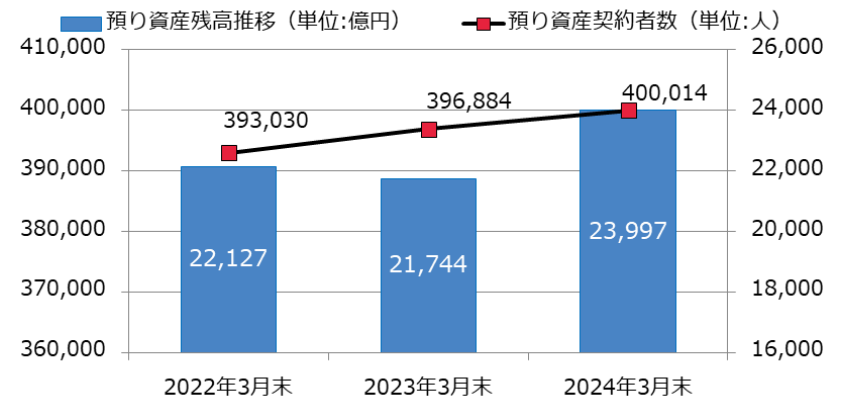
足利銀行



めぶき証券



3社合計

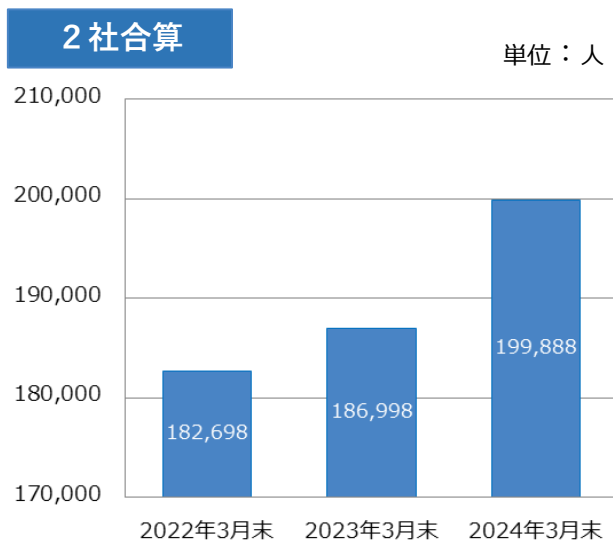
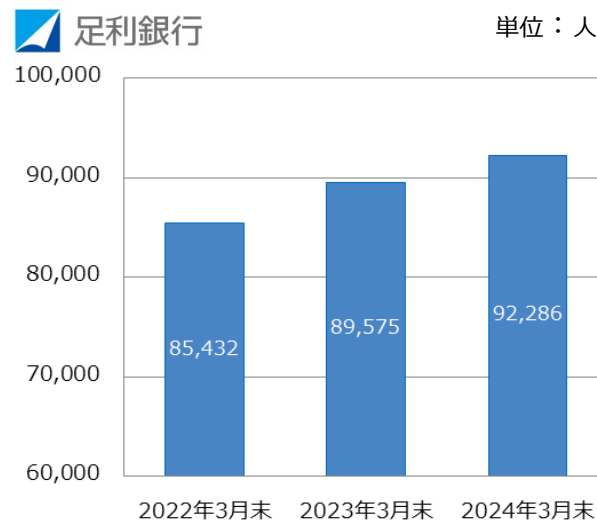
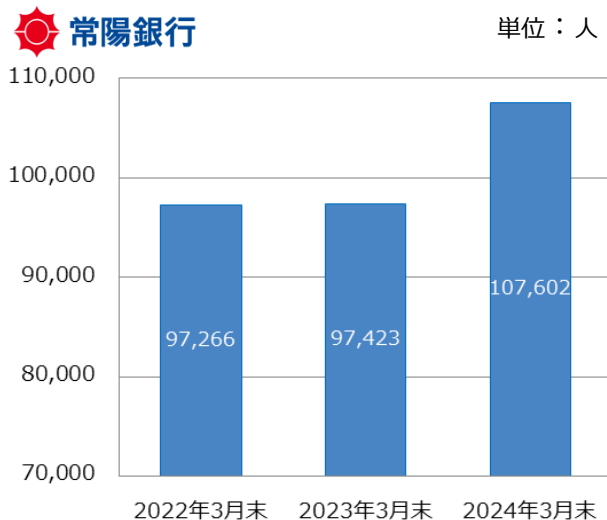


※預り資産残高 常陽銀行・足利銀行：投資信託＋保険＋外貨預金＋外国債券＋公共債
めぶき証券：投資信託＋国内外債券＋外貨MMF＋MRF

1. お客様の最善の利益の追求

③積立商品の契約者数推移

お客様の安定的な資産形成をご支援するため、長期・分散・積立のご提案に努めております。各社とも積立商品の契約者数は増加しております。



※積立商品 = 積立投信 + 平準払保険 + 外貨積立

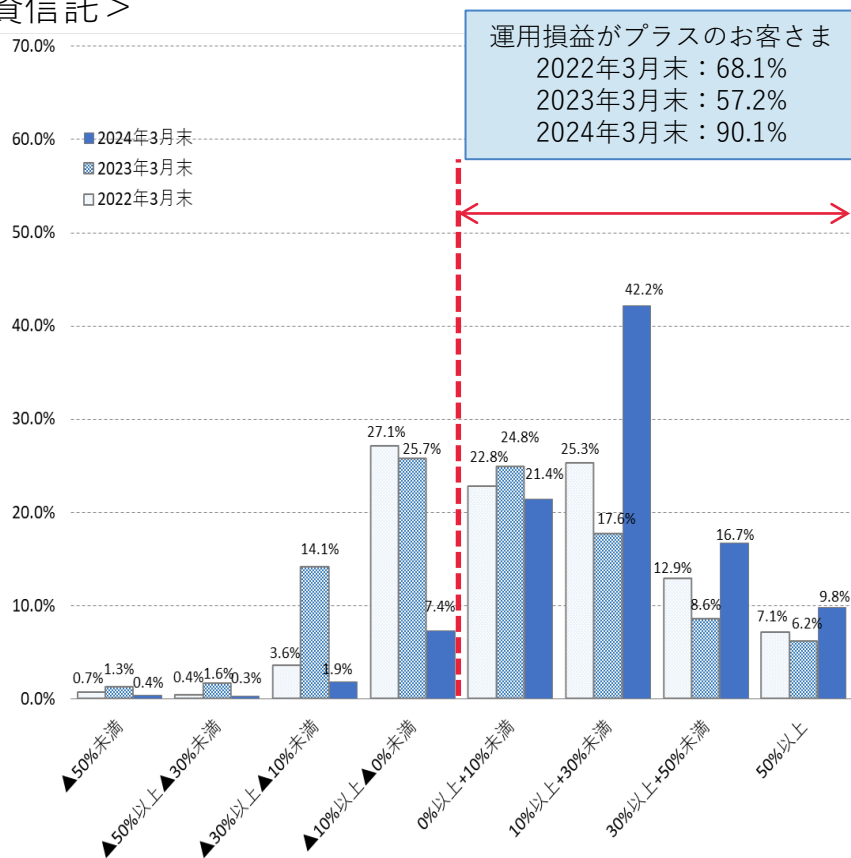
1. お客様の最善の利益の追求

④投資信託・ファンドラップの運用損益別顧客比率 共通KPI

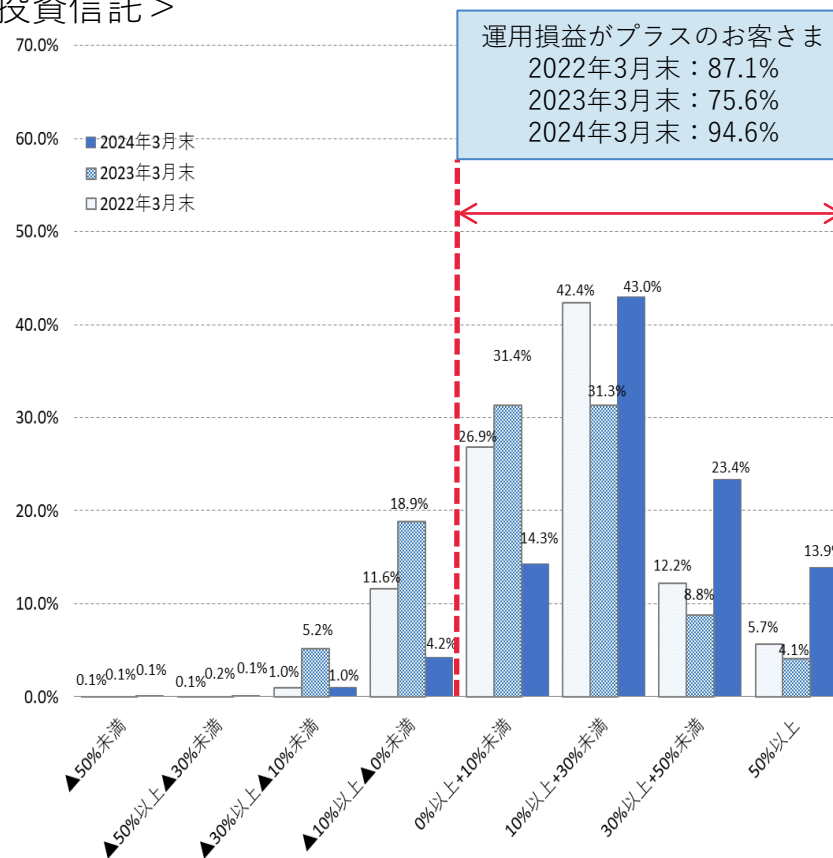
前年度末と比較して、世界的に株式市場が回復基調となり、各社ともに運用損益が「プラス」となっているお客様の比率は前年度比で増加しております。引き続きお客様へのアフターフォロー等を徹底し、お客様本位の業務運営に努めてまいります。



<投資信託>



<投資信託>



※投資信託は、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、確定拠出年金で買付した投資信託を除く
※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

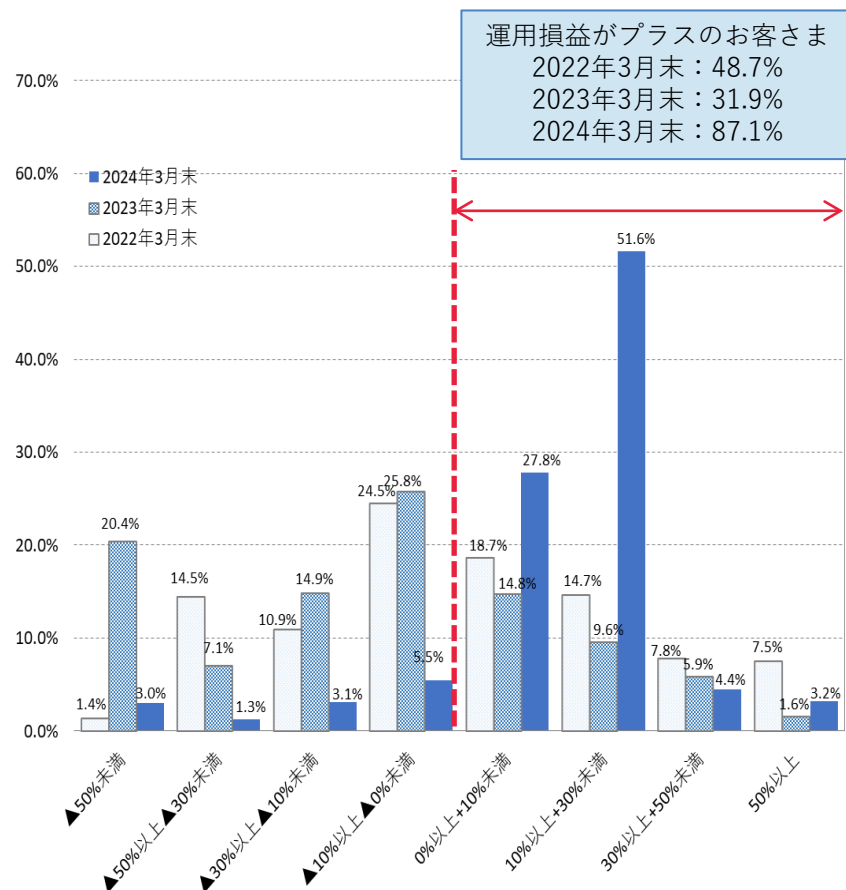
1. お客様の最善の利益の追求

④投資信託・ファンドラップの運用損益別顧客比率

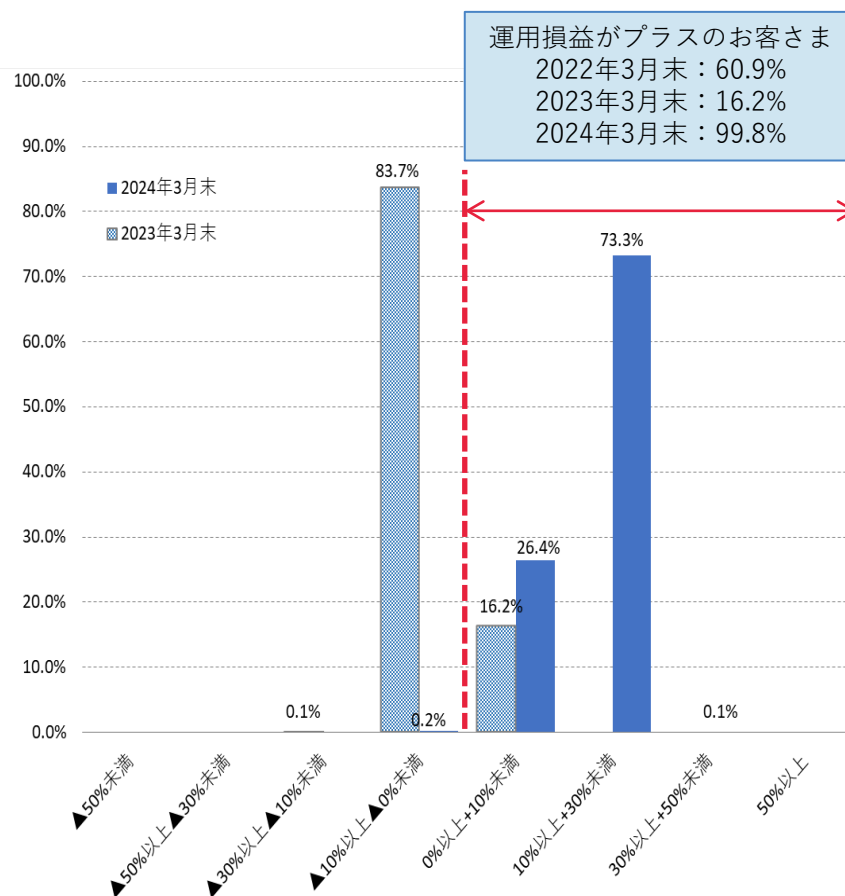
共通KPI

めぶき証券

<投資信託>



<ファンドラップ>



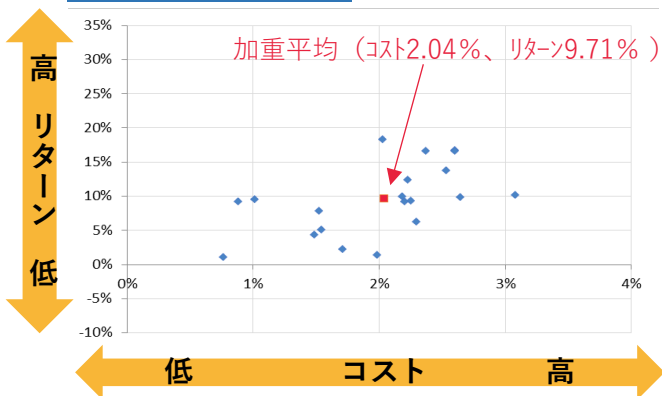
※投資信託は、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、確定拠出年金で買付した投資信託を除く
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

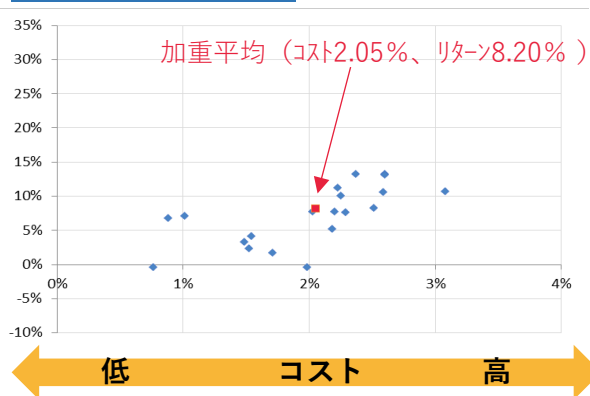
常陽銀行 ⑤投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン 共通KPI

<コスト・リターン>

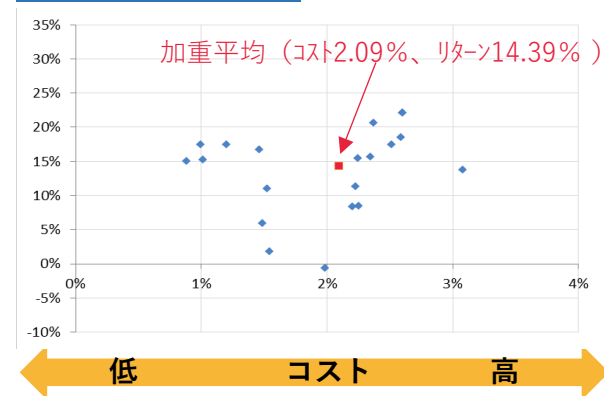
2022年3月末時点



2023年3月末時点

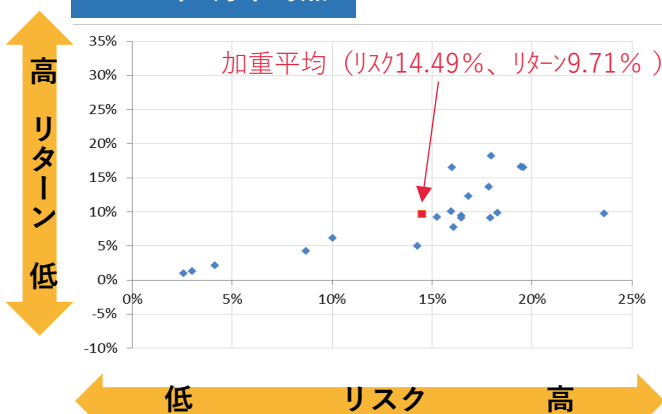


2024年3月末時点

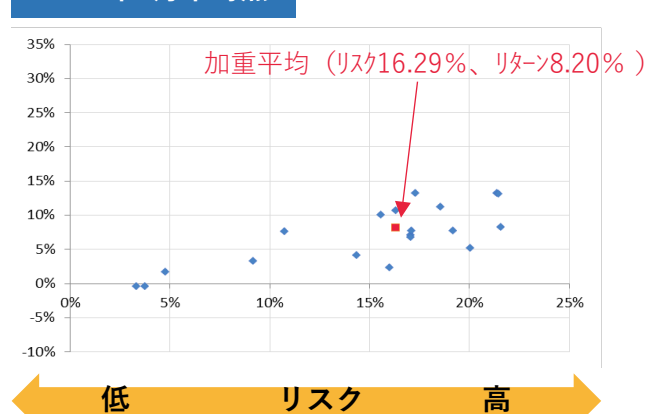


<リスク・リターン>

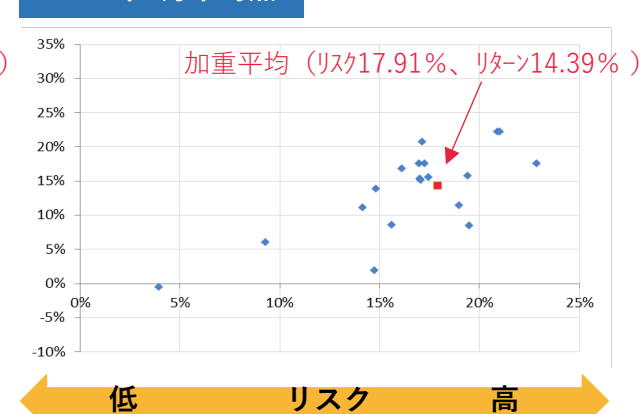
2022年3月末時点



2023年3月末時点



2024年3月末時点



※対象銘柄は設定後5年以上(単位型含む)、ただしDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く
 ※コストは販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値、リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差の年率換算、リターンは過去5年間のトータルリターンの年率換算、コスト・リスク・リターンはファンド毎の時価残高による加重平均
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

<投資信託預り残高上位20銘柄（2024年3月末時点）>

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替Hなし>（毎月決算型）	2.34%	19.39%	15.71%
2	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）	2.22%	18.94%	11.41%
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	2.60%	20.90%	22.18%
4	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.25%	15.57%	8.52%
5	ニッセイSDGsグローバルセレクトファンド（年2回決算型・為替ヘッジなし）	2.24%	17.42%	15.49%
6	米国株式配当貴族（年4回決算型）	0.99%	16.97%	17.54%
7	次世代通信関連世界株式戦略ファンド（愛称：THE 5G）	2.51%	22.85%	17.55%
8	インデックスファンド225	1.01%	17.02%	15.33%
9	ニッセイJ-REITファンド（毎月決算型）	1.54%	14.74%	1.88%
10	投資のソムリエ	1.98%	3.95%	▲0.58%
11	野村未来トレンド発見ファンド（愛称：先見の明）Bコース・為替ヘッジなし	2.37%	17.14%	20.67%
12	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	2.60%	21.01%	22.19%
13	日本好配当リバランスオープン	1.46%	16.08%	16.76%
14	ひふみプラス	1.52%	14.13%	11.06%
15	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド（1年決算型）（愛称:グローバルMaaS(1年決算型)）	2.59%	28.05%	18.61%
16	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49%	9.28%	5.94%
17	SMTAMダウ・ジョーンズ インデックスファンド	1.20%	17.24%	17.52%
18	日経225ノーロードオープン	0.88%	17.03%	15.03%
19	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）	2.20%	19.46%	8.47%
20	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.82%	13.85%
上位20銘柄の残高加重平均		2.09%	17.91%	14.39%

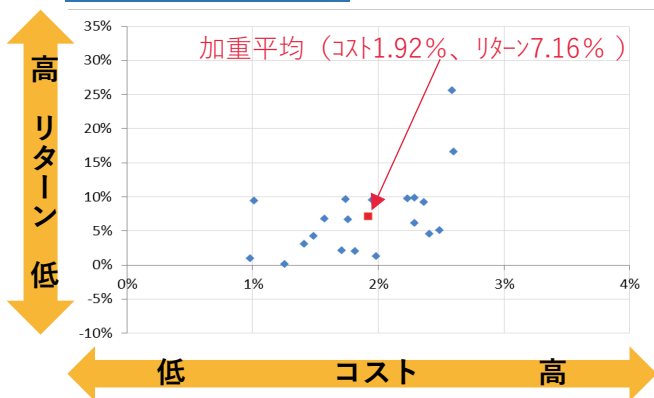
※対象銘柄は設定後5年以上(単位型含む)、ただしDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く
 ※コストは販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値、リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差の年率換算、リターンは過去5年間のトータルリターンの年率換算、コスト・リスク・リターンはファンド毎の時価残高による加重平均
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

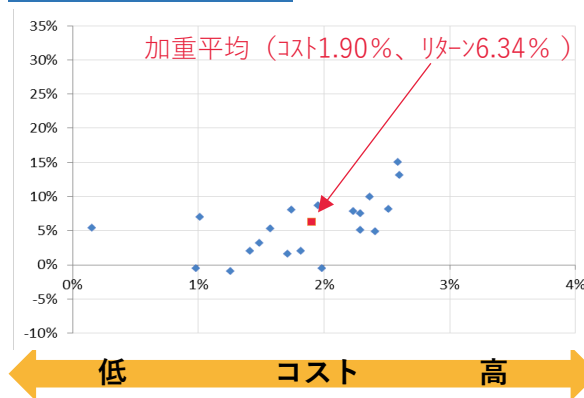
足利銀行 ⑤投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン 共通KPI

<コスト・リターン>

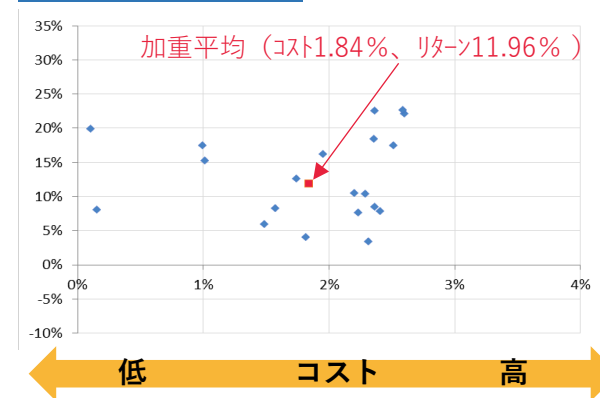
2022年3月末時点



2023年3月末時点

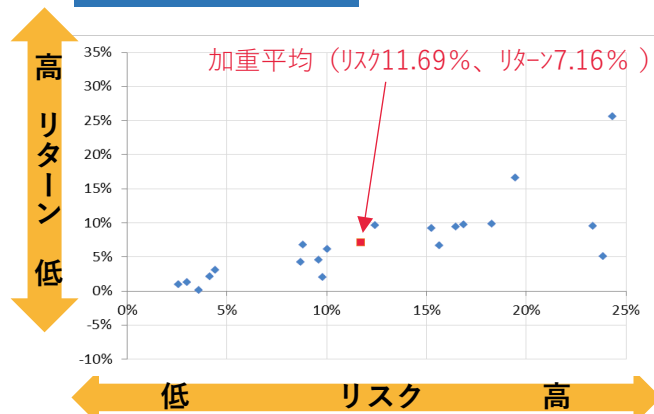


2024年3月末時点

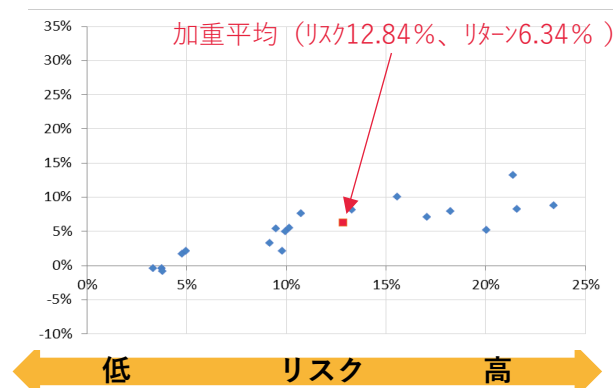


<リスク・リターン>

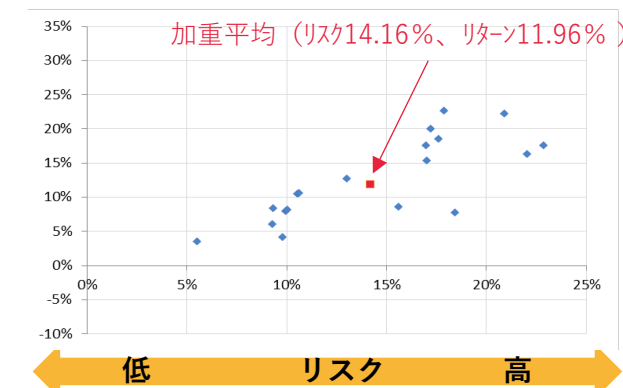
2022年3月末時点



2023年3月末時点



2024年3月末時点



※対象銘柄は設定後5年以上(単位型含む)、ただしDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く
 ※コストは販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値、リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差の年率換算、リターンは過去5年間のトータルリターンの年率換算、コスト・リスク・リターンはファンド毎の時価残高による加重平均
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

<投資信託預り残高上位20銘柄（2024年3月末時点）>

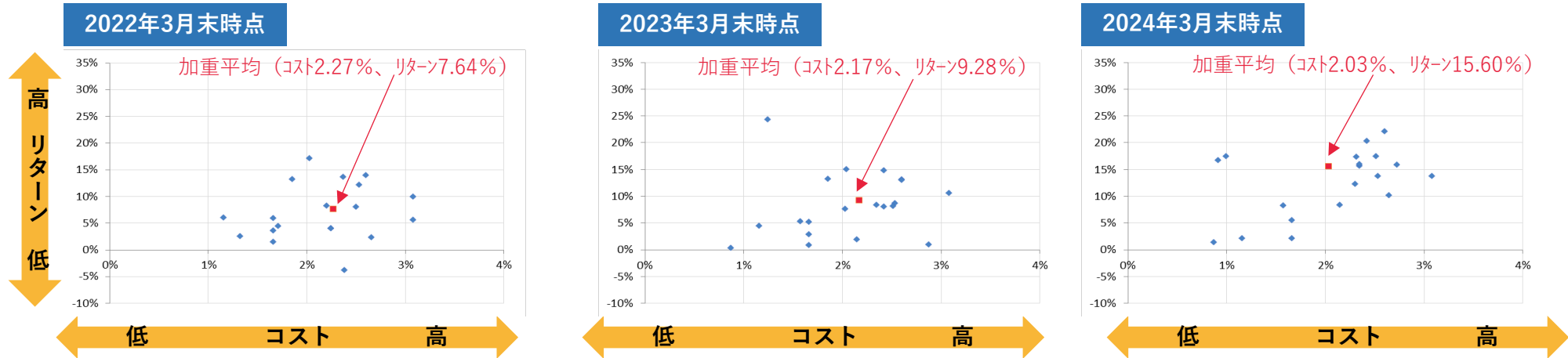
順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57%	9.29%	8.36%
2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）B（為替ヘッジなし）	2.29%	10.54%	10.46%
3	米国株式配当貴族（年4回決算型）	0.99%	16.97%	17.54%
4	新光US-REITオープン（愛称：ゼウス）	2.23%	18.42%	7.66%
5	のむラップ・ファンド（積極型）	1.74%	12.98%	12.68%
6	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49%	9.28%	5.94%
7	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.36%	15.57%	8.52%
8	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド（愛称：THE 5G）	2.51%	22.85%	17.55%
9	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	2.60%	20.90%	22.18%
10	野村インド債券ファンド（毎月分配型）	2.40%	9.94%	7.87%
11	インデックスファンド225	1.01%	17.02%	15.33%
12	グローバルAIファンド	2.59%	27.67%	22.74%
13	イーストスプリング・インド株式オープン	1.95%	22.02%	16.20%
14	ハイグレード・オセアニア・ボンドオープン（毎月分配型）（愛称：杏の実）	1.82%	9.80%	4.08%
15	キャピタル世界株式ファンド	2.35%	17.61%	18.46%
16	たわらノーロード バランス（8資産均等型）	0.15%	10.00%	8.12%
17	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（資産成長型）D（為替ヘッジなし）	2.20%	10.62%	10.58%
18	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	2.31%	5.52%	3.47%
19	フィデリティ・米国株式ファンド Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）	2.36%	17.85%	22.64%
20	たわらノーロード 先進国株式	0.10%	17.20%	19.90%
上位20銘柄の残高加重平均		1.84%	14.16%	11.96%

※対象銘柄は設定後5年以上(単位型含む)、ただしDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く
 ※コストは販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値、リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差の年率換算、リターンは過去5年間のトータルリターンの年率換算、コスト・リスク・リターンはファンド毎の時価残高による加重平均
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

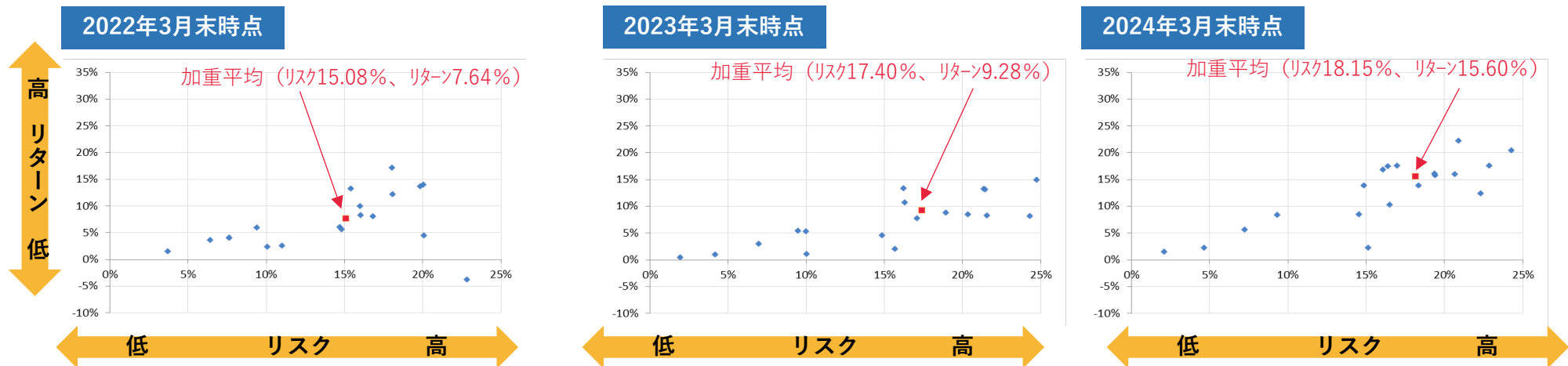
1. お客様の最善の利益の追求

めぶき証券 ⑤投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン 共通KPI

<コスト・リターン>



<リスク・リターン>



※対象銘柄は設定後5年以上(単位型含む)、ただしDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く
 ※コストは販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値、リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差の年率換算、リターンは過去5年間のトータルリターンの年率換算、コスト・リスク・リターンはファンド毎の時価残高による加重平均
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

<投資信託預り残高上位20銘柄（2024年3月末時点）>

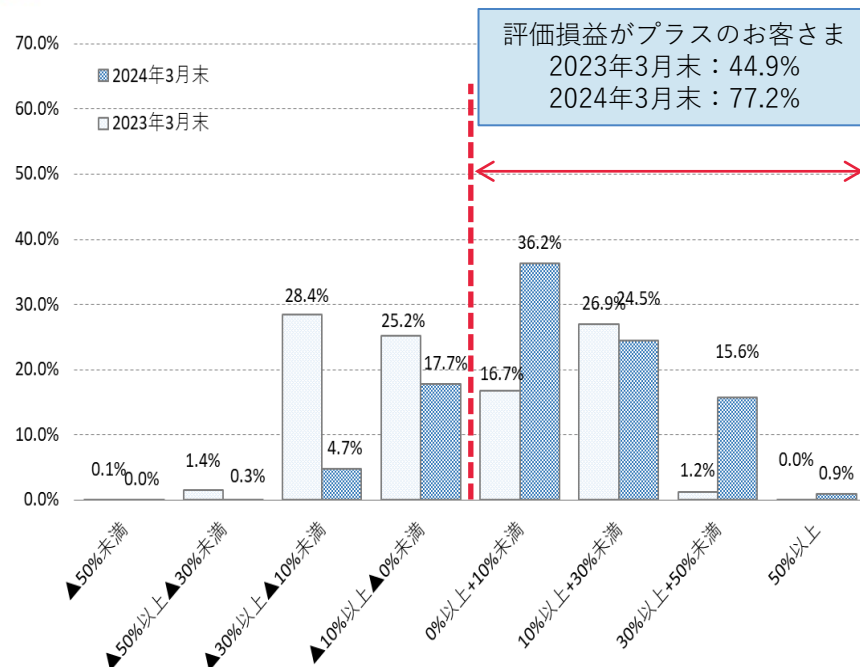
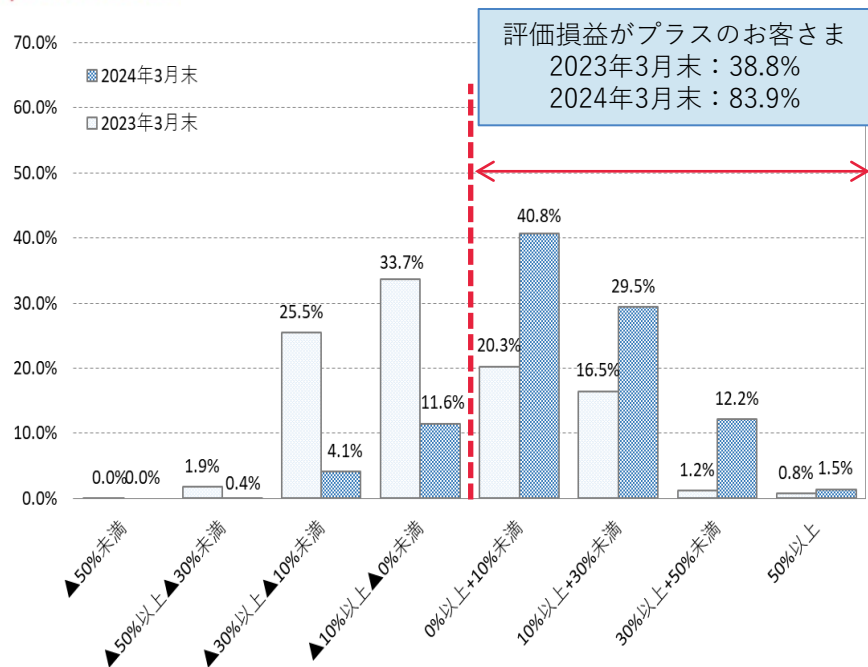
順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替Hなし>（毎月決算型）	2.34%	19.39%	15.71%
2	米国株式配当貴族（年4回決算型）	0.99%	16.97%	17.54%
3	日本好配当リバランスオープン	0.91%	16.08%	16.76%
4	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	3.08%	14.82%	13.85%
5	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57%	9.29%	8.36%
6	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.42%	24.26%	20.42%
7	インベスコ世界厳選株式オープン<為替Hなし>（年1回決算型）	2.34%	19.35%	16.05%
8	世界インパクト投資ファンド	2.53%	18.33%	13.78%
9	新光ピュア・インド株式ファンド	2.73%	20.64%	15.87%
10	FANG+インデックス・オープン	1.24%	28.31%	38.13%
11	インバウンド関連日本株ファンド	2.15%	14.54%	8.47%
12	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	2.60%	20.90%	22.18%
13	世界スタートアップ&イノベーション株式ファンド	2.30%	22.30%	12.30%
14	MHAM J-REITインデックスファンド（毎月決算型）	1.16%	15.12%	2.16%
15	グローバル8資産ラップファンド（安定型）	1.66%	4.63%	2.22%
16	ピクテ・バイオ医薬品F（毎月決算型）為替ヘッジなしコース	2.64%	16.48%	10.21%
17	グローバル8資産ラップファンド（中立型）	1.66%	7.23%	5.55%
18	ストラテジック・バリュー・オープン	2.31%	16.39%	17.40%
19	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	2.51%	22.85%	17.55%
20	日本物価連動国債ファンド	0.87%	2.08%	1.41%
上位20銘柄の残高加重平均		2.03%	18.15%	15.60%

※対象銘柄は設定後5年以上(単位型含む)、ただしDC専用、ファンドラップ専用投信、ETF、上場REIT、公社債投信、私募投信、外貨建て投信は除く
 ※コストは販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値、リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差の年率換算、リターンは過去5年間のトータルリターンの年率換算、コスト・リスク・リターンはファンド毎の時価残高による加重平均
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません

1. お客様の最善の利益の追求

⑥外貨建保険評価損益別顧客比率 共通KPI

年度中の為替相場変動の影響を大きく受け、評価損益が「プラス」のお客さまは前年度末対比で増加し、約80%となっております。



- ・外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。
- ・解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の評価損益をお約束するものではありません

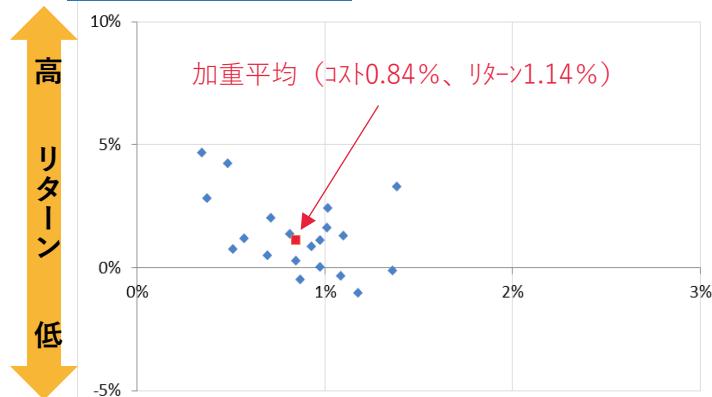
1. お客様の最善の利益の追求

常陽銀行 ⑦外貨建保険銘柄別コスト・リターン 共通KPI

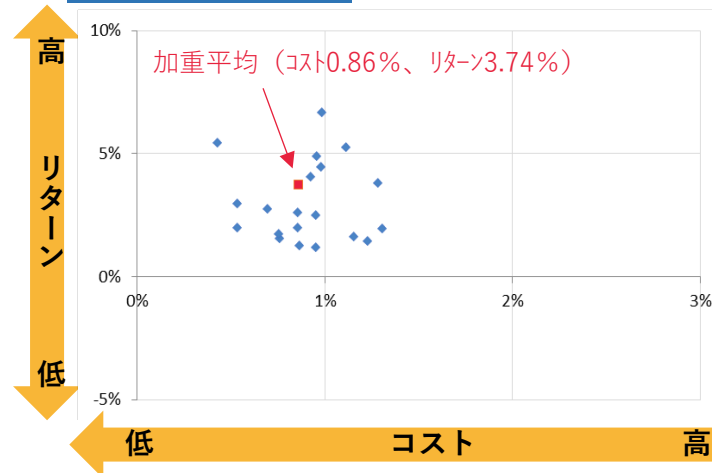
<コスト・リターン>

<銘柄一覧>

2023年3月末時点



2024年3月末時点



順位	ファンド名	コスト	リターン
1	ロングドリームGOLD2	0.98%	6.67%
2	サニーガーデンEX	0.98%	4.47%
3	プレミアレシーブ (外貨建)	0.69%	2.77%
4	やさしさ、つなぐ	0.76%	1.55%
5	ファイブ・ステップUS	0.43%	5.45%
6	しあわせ、ずっと	0.85%	2.01%
7	えがお、ひろがる	0.95%	1.20%
8	ふるはーとJロードグローバル	0.96%	4.90%
9	ビーウィズユープラス	1.15%	1.62%
10	外貨建エブリバディプラス	1.11%	5.28%
11	生涯プレミアムワールド4	0.86%	2.63%
12	三大陸	0.53%	2.98%
13	プレミアジャンプ・年金 (外貨建)	0.86%	1.28%
14	プレミアカレンシー・プラス2	0.92%	4.08%
15	ロングドリームGOLD	0.75%	1.75%
16	デュアルドリーム	1.30%	1.95%
17	プレミアジャンプ3・年金 (外貨建)	1.23%	1.44%
18	プレミアカレンシー・プラス	0.53%	2.01%
19	あしたの、よろこび	1.28%	3.83%
20	プレミアジャンプ2・年金 (外貨建)	0.95%	2.52%
上位銘柄 (最大20銘柄) の残高加重平均		0.86%	3.74%

※対象契約は、保険契約開始から60か月以上経過した契約、コストは、各契約について保険会社が支払う代理店手数料のうち新契約手数料率と継続手数料率を年率換算、リターンは各契約の購入時以降のリターンを年率換算し算出
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の評価損益をお約束するものではありません

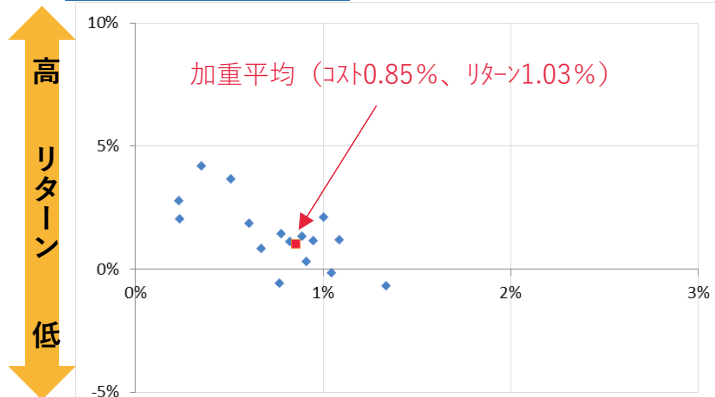
1. お客様の最善の利益の追求

足利銀行 ⑦外貨建保険銘柄別コスト・リターン 共通KPI

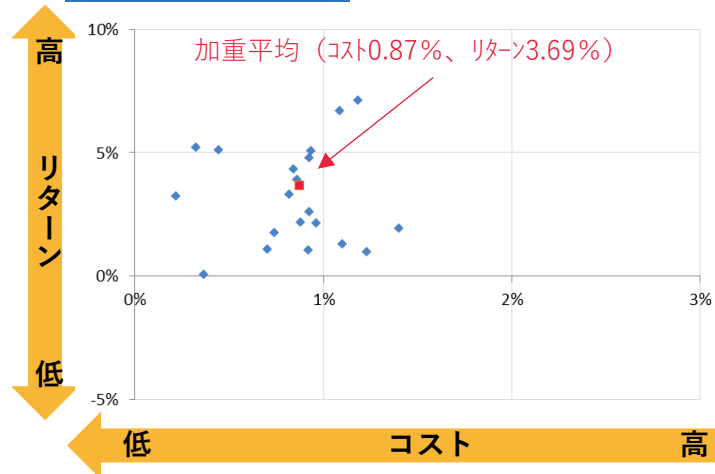
<コスト・リターン>

<銘柄一覧>

2023年3月末時点



2024年3月末時点



順位	ファンド名	コスト	リターン
1	プレミアレシーブ (外貨建)	0.84%	4.36%
2	プレミアプレゼント	0.86%	3.92%
3	ロングドリームGOLD 2	1.09%	6.70%
4	やさしさ、つなぐ	0.70%	1.09%
5	ビー ウィズ ユー プラス	1.10%	1.32%
6	ファイブ・ステップUS	0.44%	5.12%
7	しあわせ、ずっと	0.88%	2.18%
8	えがお、ひろがる	0.92%	1.06%
9	プレミアカレンシー・プラス2	0.93%	5.08%
10	プレミアジャンプ3・年金 (外貨建)	1.23%	1.00%
11	ふるはーとJロードグローバル	0.92%	4.80%
12	ロングドリームGOLD	0.74%	1.76%
13	外貨エブプラス米	1.18%	7.13%
14	プレミアジャンプ2・年金 (外貨建)	0.96%	2.16%
15	プレミアジャンプ・年金 (外貨建)	0.92%	2.62%
16	デュアルドリーム	1.40%	1.95%
17	ファイブ・ステップ セレクト	0.32%	5.22%
18	ロングドリーム	0.36%	0.07%
19	円貨エブプラス米	0.82%	3.31%
20	モンターニュ	0.21%	3.26%
上位銘柄 (最大20銘柄) の残高加重平均		0.87%	3.69%

※対象契約は、保険契約開始から60か月以上経過した契約、コストは、各契約について保険会社が支払う代理店手数料のうち新契約手数料率と継続手数料率を年率換算、リターンは各契約の購入時以降のリターンを年率換算し算出
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の評価損益をお約束するものではありません

2. 利益相反の適切な管理

(1) 当社グループとお客さまとの利益相反を防止するため、利益が相反する可能性を正確に把握し、適切な管理を行ってまいります。

めぶきF G各社における商品・サービス提供に伴い、お客さまの利益が不当に損なわれることがないように、グループ利益相反管理方針を制定し、あわせて営業部門から独立した利益相反管理全般を統括する部署を設置することで、適切に利益相反管理を行っております。

また、特定の投信運用会社・保険会社に偏ることがないように商品選定を行っております。なお、めぶきF G内には、投信運用会社・保険会社はございません。

⑧取扱投資運用会社数・取扱保険会社数の推移

		常陽銀行	足利銀行	めぶき証券
投資運用会社	2022年3月末時点	17社	25社	22社
	2023年3月末時点	18社	26社	22社
	2024年3月末時点	19社	26社	21社
保険会社	2022年3月末時点	21社	22社	
	2023年3月末時点	22社	22社	
	2024年3月末時点	22社	22社	

2. 利益相反の適切な管理

⑨投資信託販売金額上位10商品

お客さまにご購入いただいた投資信託の販売金額上位10銘柄は以下のとおりです。
投資対象は、株式、債券、バランス型等に分散されております。

常陽銀行

順位	商品名	投資対象	決算回数 (回/年)
1	日経225ノーロードオープン	国内株式	1
2	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型)	海外株式	2
3	ダイワ・US-REIT・オープンB(為替ヘッジなし)	海外リート	12
4	フィデリティ・世界割安成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)	海外株式	1
5	インデックスファンドNASDAQ100(アメリカ株式)	海外株式	1
6	あおぞら・新グローバル分散F2023-10	バランス	1
7	あおぞら・新グローバル分散F(限定追加型) 2023-07	バランス	1
8	インデックスファンド225	国内株式	1
9	ニッセイJ-REITファンド(毎月決算型)	国内リート	12
10	日経平均高配当利回り株ファンド	国内株式	1

足利銀行

順位	商品名	投資対象	決算回数 (回/年)
1	のむらっぴ・ファンド(普通型)	バランス	1
2	野村インデックスファンド・日経225 (愛称:Funds-1 日経225)	国内株式	1
3	のむらっぴ・ファンド(積極型)	バランス	1
4	米国株式配当貴族(年4回決算型)	海外株式	4
5	GSグローバル社債ターゲット2023-06 (限定追加型)(愛称:ワンロード2023-06)	海外債券	1
6	キャピタル世界株式ファンド	海外株式	1
7	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド(毎月決算型)B (為替ヘッジなし)	海外債券	12
8	新光US-REITオープン(愛称:ゼウス)	海外リート	12
9	日経平均高配当利回り株ファンド	国内株式	2
10	インデックスファンド225	国内株式	1

めぶき証券

順位	商品名	投資対象	決算回数 (回/年)
1	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替Hなし> (毎月決算型)	海外株式	12
2	米国株式配当貴族(年4回決算型)	海外株式	4
3	日本好配当リバランスオープン	国内株式	4
4	明治安田NBグローバル好利回り社債F2023-06 (限定追加型)	海外債券	1
5	インベスコ世界厳選株式オープン<為替Hなし> (年1回決算型)	海外株式	1
6	(年3%目標払出)のむらっぴ・ファンド(普通型)	バランス	6
7	米国株式自動配分戦略ファンド	その他	1
8	のむらっぴ・ファンド(普通型)	バランス	1
9	新光ピュア・インド株式ファンド	海外株式	1
10	インバウンド関連日本株ファンド	国内株式	1

⑩保険販売金額上位5商品

お客さまにご購入いただいた保険商品の販売金額上位5商品は以下のとおりです。
特定の保険会社への販売の偏りは見られませんでした。

常陽銀行

順位	商品名	保険会社名	販売割合	種類
1	外貨建エブリパディプラス	明治安田生命	16.4%	定額終身
2	ふるはーとJロードグローバルII	住友生命	13.1%	定額終身
3	プレミアプレゼント3	第一フロンティア生命	8.5%	定額終身
4	生涯プレミアムワールド5	T&Dフィナンシャル生命	6.6%	定額終身
5	しあわせ、ずっと3	三井住友海上プライマリー生命	6.1%	定額終身

足利銀行

順位	商品名	保険会社名	販売割合	種類
1	プレミアカレンシー3	第一フロンティア生命	28.3%	定額年金
2	ロングドリームGOLD3	日本生命	15.9%	定額終身
3	しあわせ、ずっと3	三井住友海上プライマリー生命	8.8%	定額終身
4	悠々時間アドバンス2plus	ニッセイ・ウェルス生命	8.3%	定額年金
5	プレミアプレゼント3	第一フロンティア生命	6.8%	定額終身

3. 手数料等の明確化

(1) お客さまにご負担いただく手数料等については、分かりやすく丁寧な情報提供を行ってまいります。

めぶき F G 各社において、金融商品販売にあたり頂いております手数料等については、金融商品のご提供にあたり、必要となる商品の開発・選定、提案資料等の作成、アフターフォローまで含めたコンサルティングサービスのご提供、お客さまに安心してご利用いただけるシステムなどの費用を総合的に勘案して設定しております。

また、お客さまに対してより丁寧な説明が必要と考える金融商品については、重要情報シート（個別商品編）を制定し、販売時の手数料、継続保有に伴い生じる手数料に加え、お客さまの金銭の支払はないものの、商品に内包しお客さまの実質的な負担となる費用についても開示しております。

<ご参考> 「めぶきファンドラップ」（投資信託の重要情報シート（個別商品編）より費用欄を抜粋）

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	ありません。		
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	<ul style="list-style-type: none"> ・投資顧問報酬率は固定報酬率とします。 ・投資顧問報酬額は、運用資産の時価評価額等に基づく計算基準額に下記の投資顧問報酬率を乗じた額とし、3ヶ月毎にお支払い頂きます。 ・増額又はサービス・プログラムの変更にかかる契約変更を行う場合には投資顧問報酬の調整を行う場合があります。 		
	計算基準額	投資顧問報酬率(年率)(括弧は消費税等込み)	
		マスター・プログラム	ボンドコア・プログラム
	2,000万円以下の部分	1.20% (1.320%)	0.60% (0.660%)
	2,000万円超 5,000万円以下の部分	1.08% (1.188%)	0.57% (0.627%)
	5,000万円超 1億円以下の部分	0.96% (1.056%)	0.48% (0.528%)
1億円超の部分	0.72% (0.792%)	0.33% (0.363%)	
	上記のほか、間接的にご負担いただく費用として、投資信託の運用管理費用（信託報酬：信託財産に対し最大で年 1.35% (消費税等込み)）、信託財産留保額（最大で信託財産の 0.30%）のほか、売買等の取引費用や監査費用等のその他の費用があります。		
売却（解約）時に支払う費用 (信託財産留保額など)	ありません。		
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。		

4. お客さま本位の情報提供

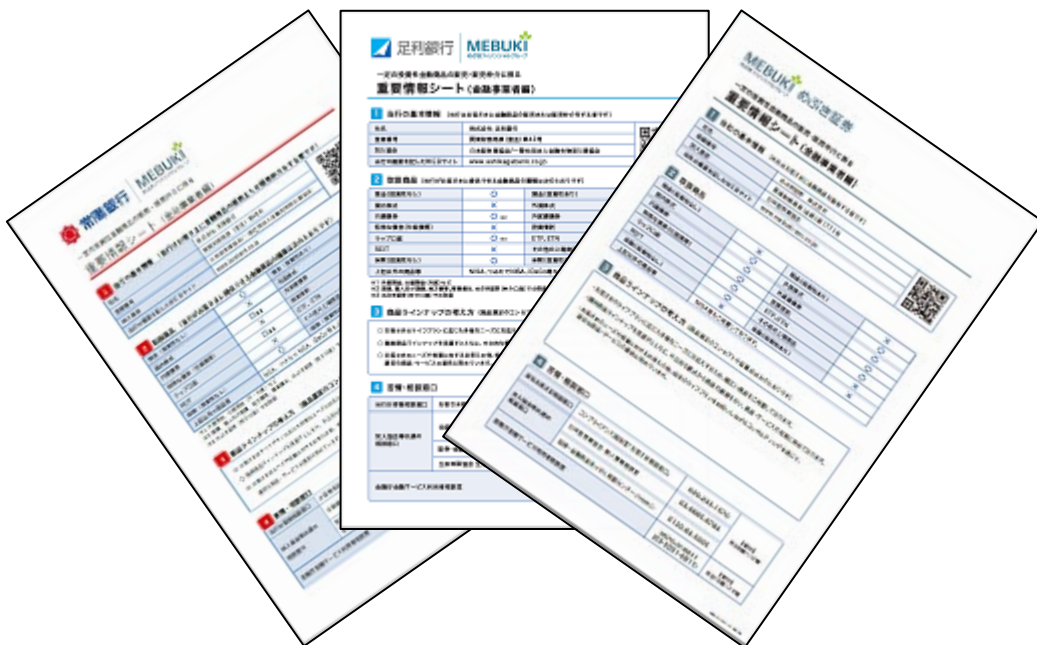
(1) 商品の特性やリスク、手数料等の重要な情報をわかりやすく提供するため、「重要情報シート」等を活用し、お客さまの理解度に応じた丁寧な説明をいたします。

金融商品やサービスの内容、手数料やリスク、取引条件などの重要な情報は、それらの内容が記載されている法定交付書面により、お客さまの理解度に応じ丁寧な説明を行っております。

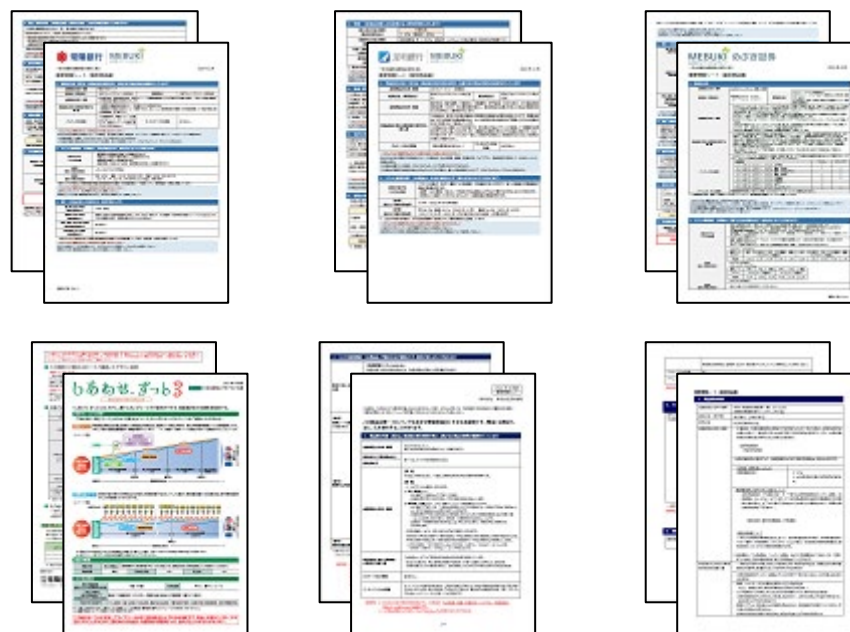
重要情報シート（金融事業者編）に加え、お客さまに対してより丁寧な説明が必要と考える金融商品について重要情報シート（個別商品編）を制定し、活用しております。

<重要情報シート>

金融事業者編



個別商品編



4. お客さま本位の情報提供

(2) 経済環境や市場動向等について、十分な情報提供を行ってまいります。

情報提供ツール

運用商品概要比較シート

商品比較に関する情報提供や商品選択のサポート充実を図っております。

保険証券分析シート

現在ご加入している生命保険の保険証券をご提示いただくと、内容を点検しご相談いただけます。

金融教育・セミナー

金融教育・セミナーの提供



高校や大学、職場などで金融経済に関する金融教育を提供するほか、NISAや資産形成を中心とした様々な情報を金融セミナーで提供しています。

スマイル・ナビゲーション

簡単な質問に回答いただくことで、関心が高いと思われるコースと最適な解決事例をご案内いたします。

各種サービス



ジェントロジー総合冊子

高齢化社会への取組み概要や対応メニューを解説した冊子タイプの総合パンフレットです。

4. お客さま本位の情報提供

(2) 経済環境や市場動向等について、十分な情報提供を行ってまいります。

人生100年時代 おかねの参考書

「人生100年時代 おかねの参考書」は、全4冊＋簡易チラシの5部構成で、お客さまの人生における“お金に関する情報”が網羅されております。



特に、「商品編」では各種金融商品から資産承継サービスまで、お客さまが比較しやすいよう、一般的な商品性が記載されております。

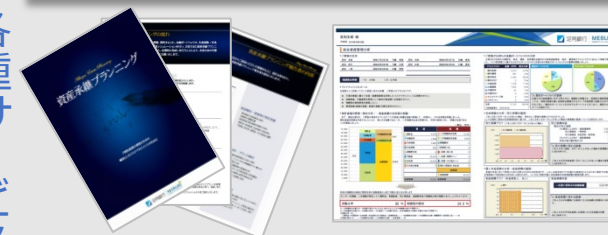
Wealth Advisor



お客さまの「夢や課題」と積立額や保有資産等から、最適な投資信託ポートフォリオを提案いたします。

資産承継プランニング

各種サービス



ご資産の管理・承継等にお悩みのお客さまに対しては、ご資産全体を踏まえた総合的な分析、対処策の提案を行うサービス「資産承継プランニング」をご提案しております。

みらいきっぷ

積立投資のご相談に際して、積立をする目的（お客さまの将来の夢や目標の実現等）に向けたゴールベースにもとづくご提案をしております。



金融教育講座の提供



高校生や大学生を対象に、金融経済の仕組みや具体的な金融知識の習得を目的とした金融教育講座を提供しています。

お客さま向けセミナーの開催



相続に関する課題や対策についてわかりやすく解説する「相続セミナー」等、お客さま向けのセミナーを定期的に実施しております。

オンラインセミナーの開催



気軽に参加できるオンラインセミナーを、定期的に様々なテーマで開催しております。

ライフプランシミュレーション



将来の豊かな生活の実現に向けて、お客さまの将来のイベント、収支状況等の情報を分析し、それぞれにお客さまに合った資産運用や家計の見直し等のご提案をしております。

情報提供ツール

各種セミナーの提供

4. お客さま本位の情報提供

(2) 経済環境や市場動向等について、十分な情報提供を行ってまいります。

情報提供ツール

Wealth Advisor

ライフプランや投資信託の入替によるシミュレーション、投資信託のパフォーマンス比較、売買手数料のシミュレーションなどの提供が可能です。

4銭高の2万9626円34銭と大幅に3営業日続伸。心理的はフシ目となる2万9500円を超える

MEBUKI めぶき証券 Wealth Advisor

4銭高の2万9626円34銭と大幅に3営業日続伸。心理的はフシ目となる2万9500円を超える

カテゴリ別に情報が掲載できます。ファンドの比較も行えます。

ファンド一覧

ランキング アドバイス

購入 シミュレーション 解約 シミュレーション

各種や各種指標など、マーケットを把握できる情報が閲覧できます。

マーケット情報

ライフプラン イベントごとに必要なお金の試算や目安が確認できます

はじめよう、投資信託 投資信託の仕組みが分かりやすく解説します

NISA・iDeCo 少額投資非課税制度・個人型確定拠出年金について解説します

相続・贈与 相続・贈与について解説(シミュレーション機能あり)

全ファンド検索 全ての投資信託の情報を確認できます

ホームページ めぶき証券ホームページが開きます

アプリの使い方 アプリケーションの使い方を解説します

資産運用のご案内 取扱商品のご案内です

購入金額・手数料シミュレーション結果

インベスコ 世界最選株式H無>(毎月決算型)
『要称:世界のベスト』

コース	お申込数量	うち手数料等(A)	積戻金額(A+B)
分配金再投資	1,000,000円	21,255円	1,000,000円
投資比率	事前積戻時必要金額	約定口数	約定金額(B)
100%	1,000,000円	1,151,689口	978,475円

購入カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
5/14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	6/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

Qr1

リアルタイムでのマーケット情報を提供可能なツール。タイムリーな情報の提供に努めております。

7167めぶきフィナンシャルグループ
MEBUKI FINANCIAL GROUP, INC.

業種: 金融 国・地域: 日本 上場市場: 東証プライム
産業: 主要銀行 次回決算予定: 主な重複市場:

株価と指標

2024/05/20の株価 東証プライム

前日比較	604.1 円	52週高値	606.1 円	(2024/05/15)
	+9.1 円	52週安値	324 円	(2023/06/01)
	+1.52 %			
売買高	3,376,800 株	5日移動平均	593.7 円	
売買代金	2,039,924,700 円	25日移動平均	557.5 円	
始値	598 円	75日移動平均	498.7 円	
高値	604.1 円	100日移動平均	482.5 円	
安値	595.3 円			*移動平均株価は修正済みの値です。
年初来高値	606.1 円			
年初来安値				
上場来高値				
上場来安値				

取得時刻 2023/05/15 15:42

日経平均 29626.34 (05/15) +238.04 +0.81% 大引

TOPIX 2114.85 (05/15) +13.45 +0.63% 大引

日経225先物 日中 23/06 29670 (05/15) +250 +0.84% (15:15)

CME 日経225(円建) 23/06 29575.00 (05/12) +445 (05/12)

東証REIT指数 1885.19 (05/15) +28.63 +1.54% 大引

利国10年370 0.405 (05/15) +0.025 (15:02)

米ドル(USD/JPY) 136.12-13 (15:42) +0.43 (15:42)

ユーロ(EUR/JPY) 147.02-0.07 (15:42)

London 7:42 Tokyo 15:42 NewYork 2:42

ドイツ 15913.8200 (05/12) +78.9100 +0.49%

中国 3302.3107 (05/15) +29.9488 +0.91%

米国 33300.62 (05/12) -8.89 -0.02%

日本 29626.34 (05/15) +238.04 +0.81%

香港 20016.57 (05/15) +389.33 +1.98%

ブラジル 108463.8400 (05/12) +207.4400 +0.19%

トルコ 7754.62 (05/12) +24.04 +0.31%

インド 62406.45 (05/15) +378.55 +0.61%

オーストラリア 7460.5 (05/15) +7.3 +0.09%

株式 為替 金利

2023/05/15 07:31 朝イデ便利帳・15日 4月の企業物価指数、3メガバンク決算

4. お客さま本位の情報提供

(2) 経済環境や市場動向等について、十分な情報提供を行ってまいります。

情報提供ツール

ハウスピー

相場見通しや商品の運用状況など、一貫性のある投資情報を定期的に提供することで、お客さまの投資判断に必要な情報提供を行っております。



GMAP Summary: Global Macro & Asset alloc

グローバル投資戦略レポート

成長の春風が花散らす嵐か

春
2024年3月

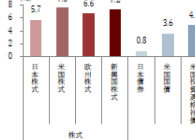


長期の市場見通し

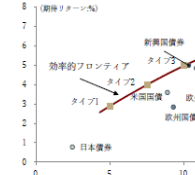
今後10年間（2023～2032年）の世界経済は、過去10年と比べて成長率が低下し、急進な高成長化によって中国経済の成長率が低下することが主因だ。

リーマン・ショック以降、低金利と低インフレーションが続き、利上げに追い込まれ、中央銀行が中立金利（物価と物価に一致する実質金利）に引き上げようとしている。ただし、実質金利がグローバルな実質金利の低下傾向に引き継がれ、各資産の長期期待リターンは低下している。

長期見通し（10年）による各資産の期待リターン



GMAP長期市場見通しに基づくリスクリターン



前回号からの振り返り

■ 景気や企業業績の改善傾向が維持されるなか株価は上昇

米国株式市場では、底堅い景気と企業業績の改善傾向が維持されるなかで、株価が大きく上昇した。為替市場の円安基調に加え、海外からの資金流入が続いたことで、日本の株式市場でも株価が大幅に上昇した。

米国債券市場では、23年末にかけ米連邦準備理事会（FRB）の利下げ観測が強まり、金利は低下したが、24年以降は市場予想（Bloomberg集計）を上回る経済指標が確認され金利は上昇した。日本では、日銀の政策修正観測が強まるなかで日本の10年国債利回りも0.7%附近で推移している。

REIT市場では、グローバルな金利水準の低下に加え、先行きの世界景気への見通しが改善するなか、グローバルREITの上昇が目立った。

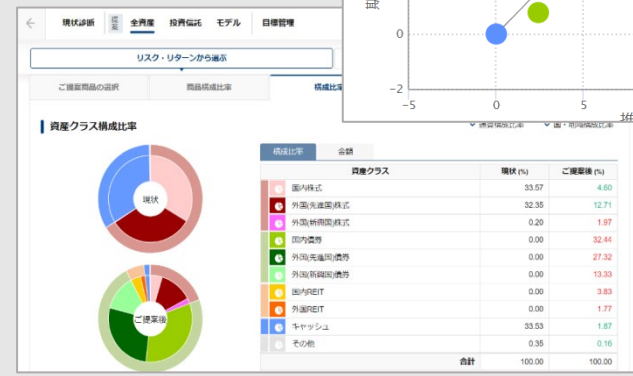
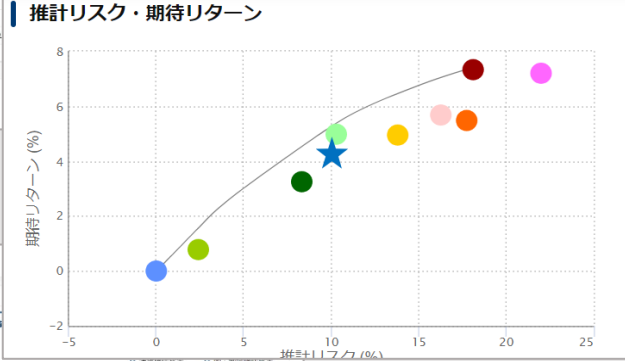
FX市場では、23年末にかけ米国の利下げ観測が円高要因となったが、その後は早期利下げ期待がやや後退し150円水準まで安値圏が高くなった。

資産	各資産毎の実績リターン（円建て、%）			
	過去12か月	過去6か月	過去1年	過去3年
日本株式	11.0	17.4	34.5	43.7
米国株式	11.3	18.0	36.5	89.3
欧州株式	8.2	10.7	22.7	59.5
新興株式	3.7	8.2	16.1	9.1
日本債券	0.3	-0.9	-0.5	-5.1
米国債券	2.0	5.4	14.0	26.6
米国投資運用債	4.5	8.9	18.0	26.1
欧州投資運用債	1.3	5.6	17.5	6.8
欧州投資運用債	2.7	6.4	19.2	15.4
先進国REIT	4.5	9.4	25.5	42.0
新興国REIT	5.8	9.4	21.5	27.9
日本REIT	-6.0	-6.1	-2.0	-3.5
グローバルREIT	6.8	9.9	11.2	31.4
コモディティ	-4.3	-1.6	5.9	22.9
ヘッジファンド	2.7	6.1	14.9	43.0
FX平均	-0.3	2.8	12.1	41.7

注：リターンの計算には、日本国債を指標とし、相対利差を以下の通り日本株式(TOPX)、日本債券(S&P日本債券指数)、米国債券(TREASURY)、米国株式(S&P 500 Index)、欧州株式(Euro Stoxx 50 Index)、新興株式(FTSE Emerging Index)、米国REIT(US REIT Index)、欧州REIT(Euro REIT Index)、グローバルREIT(Global REIT Index)、コモディティ(COMMODITY)、ヘッジファンド(HEDGE FUND)の各資産の平均リターンを算出している。FX平均は、円安・円高の平均リターンを算出している。

ポートフォリオ提案ツール

ポートフォリオ分析ツールを用いて、お客さまのポートフォリオの現状診断を行い、お客さまの投資意向や目指す目標、リスク許容度に応じたポートフォリオ提案を行っております。



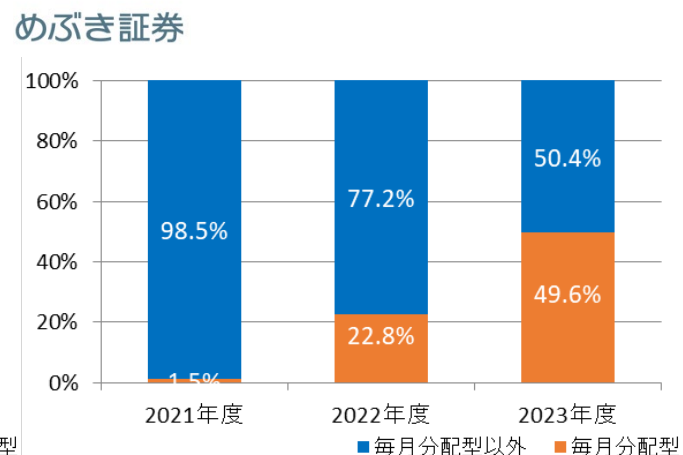
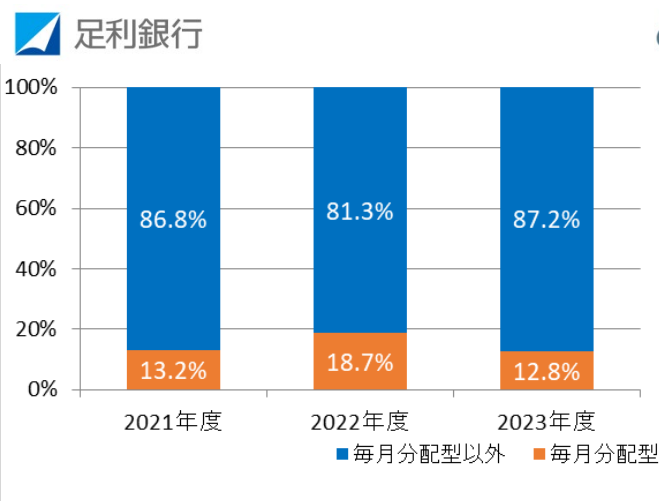
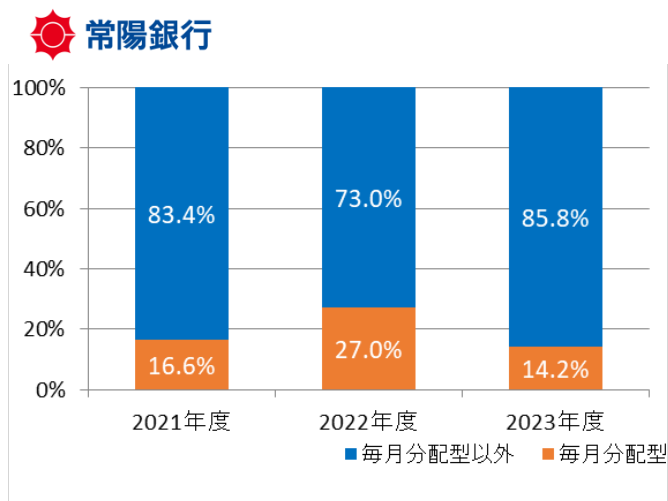
5. お客様本位のコンサルティングの実践

(1) お客様の最善の利益の実現を支援するため、グループ総合力を最大限に活用したコンサルティングを行ってまいります。

金融商品やサービスをご案内する際には、ご相談シートを使用し、お客様の知識や投資経験、財産の状況、投資目的に照らし、最適な金融商品やサービスをご提案できるよう努めております。

⑪投資信託販売額に占める毎月分配型の販売比率

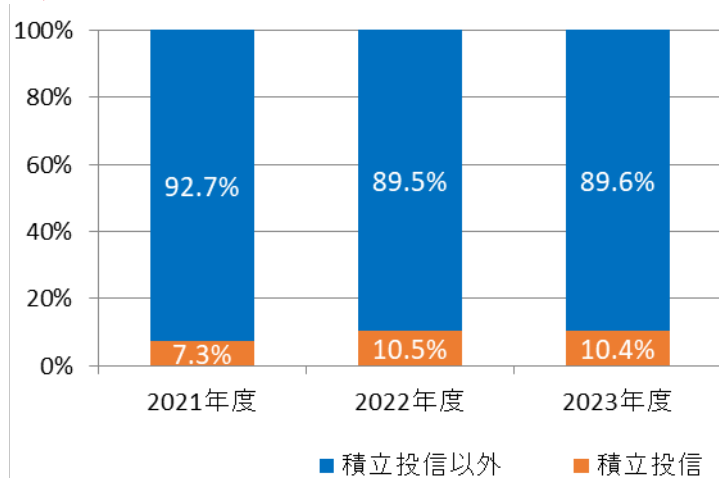
お客様のご意向を十分確認した上で、お客様本位のご提案に努めております。投資信託販売において、毎月分配型の販売比率は、各社において約10%～50%となっております。



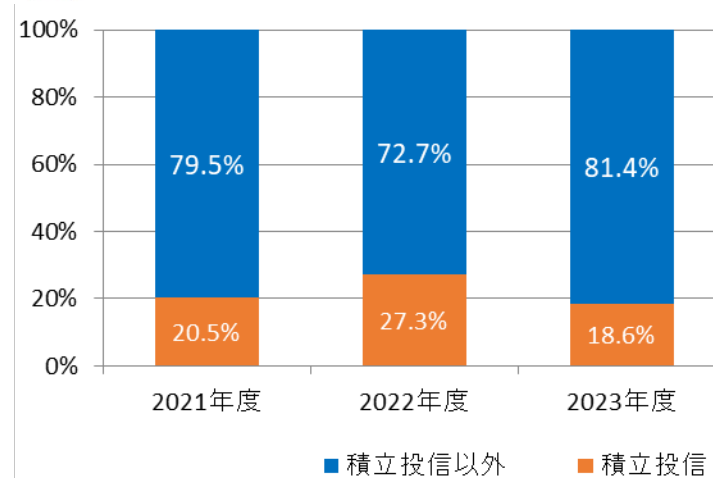
⑫投資信託販売額に占める積立投信の販売比率

長期安定的な資産形成のため、「時間の分散」の観点から、積立投資信託の提案を行っております。

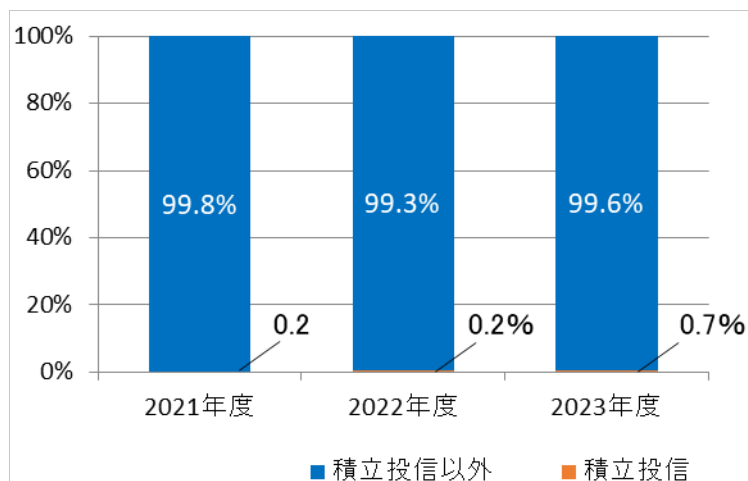
常陽銀行



足利銀行



めぶき証券

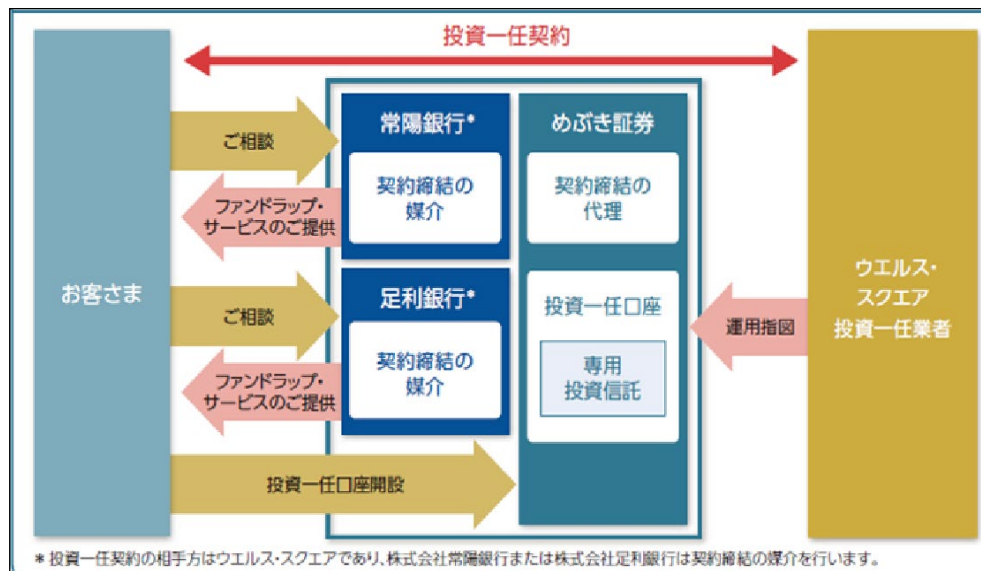


(2)多様化するお客様の目標や夢を実現するための商品・サービスの提供を行ってまいります。

お客様のニーズやお客様のライフプラン等を踏まえ、銀行と証券会社のそれぞれの機能を積極的に活用し、最適な商品・サービスの提供に努めております。

めぶきファンドラップ

めぶきファンドラップは、お客様一人ひとりの財産の状況・運用の目的・将来の目標を共有した上で、ファンドラップの3つの特性「投資一任契約」「オーダーメイドでの運用コース設定」「定期的なフォロー体制」を活用し、お客様の目標達成を長期的にサポートするサービスです。



⑬めぶきファンドラップの契約者数・契約金額

	契約者数	契約金額
2022年3月末時点	1,432先	7,207百万円
2023年3月末時点	4,015先	19,998百万円
2024年3月末時点	4,223先	20,898百万円

5. お客さま本位のコンサルティングの実践

(2)多様化するお客さまの目標や夢を実現するための商品・サービスの提供を行ってまいります。

⑭投資信託商品の取扱数および新規取扱・取扱中止の実績

(2024年3月末現在)



カテゴリー	取扱数		2023年度増減		
	比率		新規取扱 (+)	取扱中止 (▲)	
国内債券	4	3.9%	0	0	0
国内株式	14	13.6%	2	4	2
国内リート	3	2.9%	0	0	0
海外債券	18	17.5%	2	3	1
海外株式	33	32.0%	8	8	0
海外リート	7	6.8%	0	0	0
バランス型	23	22.3%	▲9	0	9
ラップ型	0	0.0%	0	0	0
その他	1	1.0%	0	0	0
合計	103	100.0%	3	15	12
(内IB専用)	13		0	0	0



カテゴリー	取扱数		2023年度増減		
	比率		新規取扱 (+)	取扱中止 (▲)	
国内債券	2	1.8%	0	0	0
国内株式	10	8.8%	1	1	0
国内リート	1	0.9%	0	0	0
海外債券	20	17.5%	0	0	0
海外株式	43	37.7%	▲2	2	4
海外リート	4	3.5%	0	0	0
バランス型	29	25.4%	0	0	0
ラップ型	3	2.6%	0	0	0
その他	2	1.8%	0	0	0
合計	114	100.0%	▲1	3	4
(内IB専用)	29		+2	2	0



カテゴリー	取扱数		2023年度増減		
	比率		新規取扱 (+)	取扱中止 (▲)	
国内債券	1	1.5%	0	0	0
国内株式	14	21.5%	3	5	2
国内リート	2	3.1%	0	0	0
海外債券	6	9.2%	1	2	1
海外株式	31	47.7%	2	4	2
海外リート	2	3.1%	0	0	0
バランス型	4	6.2%	1	1	0
ラップ型	0	0.0%	0	0	0
公社債投信	0	0.0%	0	0	0
その他	5	7.7%	2	4	2
合計	65	100.0%	9	16	7

5. お客さま本位のコンサルティングの実践

(2)多様化するお客さまの目標や夢を実現するための商品・サービスの提供を行ってまいります。

⑮保険商品の取扱数および新規取扱・取扱中止の実績

(2024年3月末現在)



カテゴリー	取扱数		2023年度増減		
		比率	新規取扱 (+)	取扱中止 (▲)	
定額個人年金保険(円建)	0	0.0%	▲2	0	2
定額個人年金保険(外貨建)	0	0.0%	▲1	0	1
定額個人年金保険(通貨選択)	3	6.5%	0	0	0
変額個人年金保険(円建)	0	0.0%	▲1	0	1
変額個人年金保険(外貨建)	0	0.0%	0	0	0
変額個人年金保険(通貨選択)	0	0.0%	0	0	0
一時払終身保険(円建)	5	10.9%	▲2	0	2
一時払終身保険(外貨建)	7	15.2%	0	0	0
一時払終身保険(通貨選択)	4	8.7%	1	1	0
個人年金保険(平準払)	4	8.7%	▲1	1	2
終身保険(平準払)	4	8.7%	▲2	0	2
収入保障保険	3	6.5%	0	0	0
定期保険	1	2.2%	0	0	0
学資保険	0	0.0%	▲2	0	2
がん保険	3	6.5%	0	0	0
医療保険	8	17.4%	0	0	0
認知症保険	1	2.2%	0	0	0
養老介護保険	3	6.5%	0	0	0
合計	46	100.0%	▲10	2	12



カテゴリー	取扱数		2023年度増減		
		比率	新規取扱 (+)	取扱中止 (▲)	
定額個人年金保険(円建)	0	0.0%	0	0	0
定額個人年金保険(外貨建)	0	0.0%	0	0	0
定額個人年金保険(通貨選択)	4	8.3%	0	0	0
変額個人年金保険(円建)	0	0.0%	0	0	0
変額個人年金保険(外貨建)	0	0.0%	▲1	0	1
変額個人年金保険(通貨選択)	0	0.0%	0	0	0
一時払終身保険(円建)	4	8.3%	0	0	0
一時払終身保険(外貨建)	6	12.5%	0	0	0
一時払終身保険(通貨選択)	5	10.4%	0	0	0
個人年金保険(平準払)	3	6.3%	0	0	0
終身保険(平準払)	3	6.3%	0	0	0
収入保障保険	4	8.3%	0	0	0
定期保険	2	4.2%	0	0	0
学資保険	1	2.1%	0	0	0
がん保険	4	8.3%	0	0	0
医療保険	8	16.7%	1	1	0
認知症保険	1	2.1%	0	0	0
終身保険(平準払・介護)	2	4.2%	▲1	0	1
一時払養老保険	0	0.0%	0	0	0
養老保険(平準払)	1	2.1%	0	0	0
合計	48	100.0%	▲1	1	2

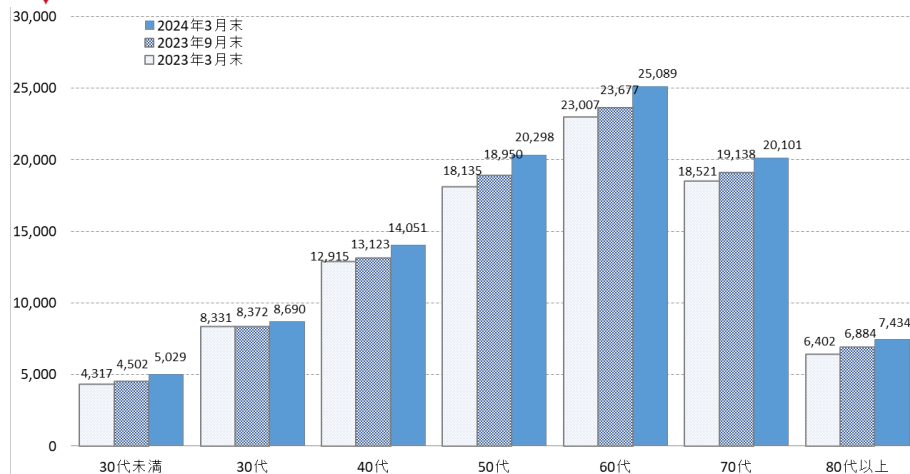
※めぶき証券は、保険商品の取扱はございません。

5. お客さま本位のコンサルティングの実践

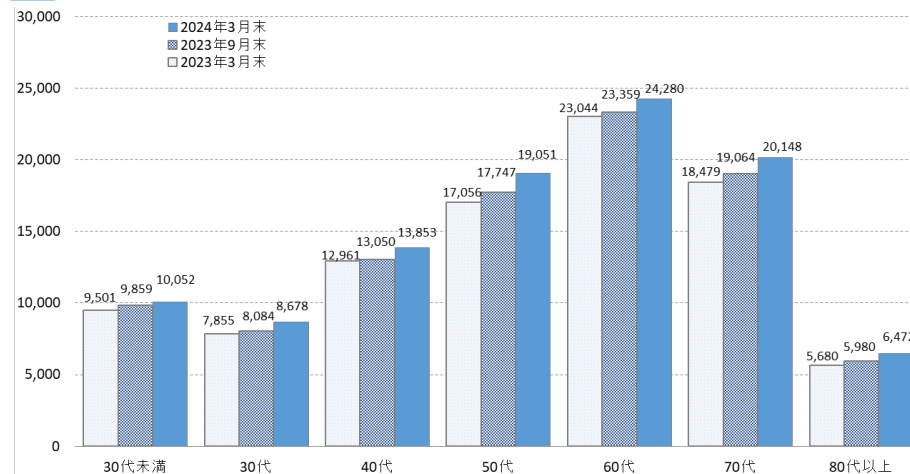
(2)多様化するお客さまの目標や夢を実現するための商品・サービスの提供を行ってまいります。

⑬年代別のNISA口座数

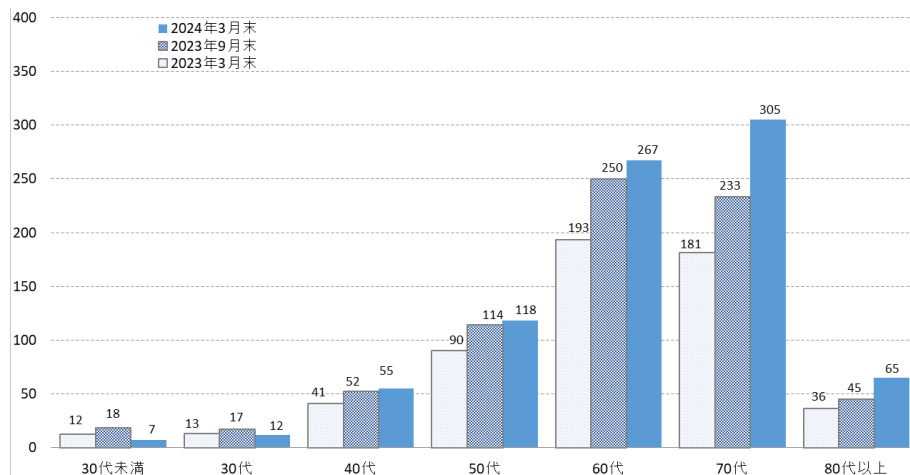
常陽銀行



足利銀行



めぶき証券



5. お客さま本位のコンサルティングの実践

(3)お客さまとの接点となる多様なチャネルの整備・拡充により、お客さまの利便性向上に努めてまいります。

休日相談チャネル

<マネー相談デスク> 常陽銀行

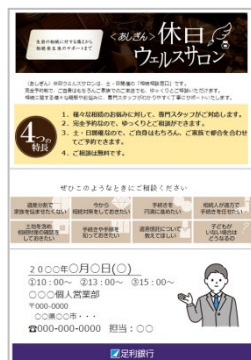
茨城県内9店舗では、土日も9:00~17:00まで資産運用や保険の見直しなどについてご相談いただけます。
(水曜のみ15:00まで/祝日・12月30日~1月3日は休業)



<あしぎん休日ウェルスサロン> 足利銀行



「あしぎん休日ウェルスサロン」では、休日に“家族でじっくり”ご資産の管理や承継についてご相談いただけます。



2022年4月からは、より多くのご相談に対応できるよう「出張休日ウェルスサロン」を実施しております。

非対面チャネル

<銀行取引アプリ> 常陽銀行 足利銀行

スマートフォンがあれば、銀行窓口でのお申し込み手続きなく、定期預金や外貨預金のお取引がご利用いただけます。



<あしぎんマネーデザイン>



スマートフォンやパソコンで、“いつでも、どこでも”金融商品取引が行えます。

SBI証券と損害保険ジャパンの“豊富な商品ラインナップ”から、商品をお選びいただけます。

	金融商品仲介口座数	残高
2022年3月末時点	867先	3,928百万円
2023年3月末時点	2,345先	10,290百万円
2024年3月末時点	5,013先	24,183百万円

5. お客さま本位のコンサルティングの実践

(4)運用状況や市場環境を踏まえたタイムリーな情報提供と丁寧なアフターフォローを行ってまいります。

投資信託や生命保険などの運用商品をご購入いただいたお客さまに対しましては、安心して運用いただけるよう、一定の基準を設けアフターフォローを実施しております。

特に相場急落時などは、お客さまにタイムリーな情報提供ができるよう努めております。海外金融機関破綻に伴う金融不安による相場変動時にも、速やかにアフターフォローを実施いたしました。

(5)お客さまの金融リテラシー向上に向けた取組みを行ってまいります。

お客さまに金融商品に対する理解を深めていただくため、各種セミナーを定期的を開催しております。2023年度は、地域の教育機関や自治体と連携したセミナーや学生を対象とした金融教室の開催にも注力いたしました。

⑰お客さまセミナー等の実施状況



セミナー等の内容	回数(回)	参加人数(人)
集合セミナー（本部主催）	14	410
オンラインセミナー（本部主催）	4	385
職域セミナー	1,580	11,656
合計	1,598	12,451

お客さまのライフプランに沿ったセミナーや、お取引先企業の従業員様向けの各種セミナーに取り組んでいます。
また、小学生～高校生を対象とした「金融教室」を学校や教育機関にて実施しています。
(2023年度：33校、1機関
1,608人)

<高校生のための金融教室>

資産形成について考えてみよう



セミナー等の内容	回数(回)	参加人数(人)
集合セミナー（本部主催）	224	3,345
オンラインセミナー（本部主催）	11	313
資産運用セミナー（支店主催）	80	334
職域セミナー（情報提供含む）	2,318	10,377
合計	2,633	14,369

足利銀行の企業理念「豊かさの創造に寄与する」・「地域と共に生きる」に基づき、地域の金融リテラシー向上のための取組みを行っております。

(2023年度の開催実績(回数・参加人数))

自治体、教育機関向け 金融教育等のセミナー	30回 781人
自治体等と連携した 相続セミナー	15回 650人

お金の基礎知識 ～豊かな人生を歩むために～



2024年1月
栃木県立 ● 高等学校



●市主催
「知っておきたい相続の課題」

講師
常陽銀行 個人コンサルティング部
ファイナンス・マーケティング課 財務コンサルタント

(1)お客様本位の営業活動を促す業績評価体系の整備を行ってまいります。

めぶきFGでは、お客様本位の業務運営に関する基本方針に基づき安定的な資産形成の実現へ貢献することが、お客様の最善の利益につながると考えております。

お客様本位の業務運営を更に浸透させるため、業績評価では、預り資産契約者数の増加を評価する項目や、投資信託の運用残高の増加等を評価する項目を設けております。

各社の業績評価体系について



常陽銀行

地域の金融機関には個人顧客に対する資産形成支援やNISA制度の浸透が期待されています。当行もこの動きにあわせ、NISA制度を活用した「長期・積立・分散」投資による資産形成を後押しし、「取引先数等の顧客基盤の拡充」や「残高増加による中長期的な収益基盤の確立」につなげていきます。

お客様が目指すゴールの実現に向けた最適な提案を行うことで、預り資産の残高・先数の増加につなげるため、「先数」「残高」「ゴールベースアプローチ」「NISA推進取組」を重視した評価を行っております。



足利銀行

お客様の安定的な資産形成、お客様の資産成長のサポートを目的として、資産残高の積み上げ（投資信託、ファンドラップ等）を重視しています。

また、ライフプランコンサルティングの考え方のもと、お客様のニーズや課題解決につながる幅広い金融サービス（生命保険等）の提供を評価項目としており、お客様の最善の利益につながる評価体制を構築しております。

めぶき証券

当社では、お客様の目指すゴール達成に資する総合的な営業活動を重視しています。このため、お客様の目指すゴール達成に向けた中長期的な運用提案を継続していく活動を評価するものとして、投資信託残高の純増、商品販売額、顧客接触状況やアフターフォロー実施状況等を軸とした業績評価体系としております。

お客様の最善の利益の追求が担当者の評価に反映されるよう、今後も必要に応じて改善してまいります。

6. お客様本位の販売態勢の整備

(2)多様化・高度化するお客様ニーズにお応えするため、プロフェッショナルな人材の育成を行ってまいります。

めぶきFGでは、プロフェッショナルな人材育成として、各種研修会の開催や外部資格の取得推進を行っております。

⑱ファイナンシャル・プランニング(FP)技能士資格保有者数の推移

常陽銀行

	2022年3月	2023年3月	2024年3月
FP1級	172名	177名	187名
FP2級	2,144名	2,185名	2,226名

足利銀行

	2022年3月	2023年3月	2024年3月
FP1級	160名	165名	170名
FP2級	1,367名	1,453名	1,530名

めぶき証券

	2022年3月	2023年3月	2024年3月
FP1級	8名	6名	6名
FP2級	23名	27名	29名

3社合計

	2022年3月	2023年3月	2024年3月
FP1級	340名	348名	363名
FP2級	3,534名	3,665名	3,785名

(3)お客様本位の業務運営態勢の確保に向けたガバナンス体制の整備を行ってまいります。

お客様本位の業務運営に関する基本方針はめぶきFG各社において、社内令達等により従業員への周知を図っております。また、半期毎に取組状況のモニタリングを実施し、実施・定着状況の確認を行っております。